

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究
分担研究報告書

IgG4 関連呼吸器疾患の診断基準

研究分担者 三嶋 理晃 京都大学大学院医学研究科・京都大学附属病院呼吸器内科
教授

研究要旨：IgG4関連疾患の呼吸器病変（IgG4関連呼吸器疾患）の後方視調査の結果をもとに診断基準を作成した。診断項目は、画像所見・血液検査所見・病理所見・胸郭外臓器病変の存在、の4項目とし、診断を、確定診断群（definite）・準確定診断群（probable）・疑診群（possible）の3つに分類した。

A．研究目的

2011年、厚生労働省難治性疾患克服研究事業研究班（厚労班）から、IgG4関連疾患包括診断基準が公表され、広く使用されている。一方で、IgG4関連疾患の呼吸器病変の診断においては診断精度が十分でない可能性がある。本研究では、IgG4関連疾患の呼吸器病変の診断基準を作成することを目的とした。

B．研究方法

厚労班に所属する施設および研究協力施設において、IgG4関連疾患の呼吸器病変症例の後方視調査を行った。その調査結果を厚労班呼吸器分科会において検討の後、診断基準案を作成した。
（倫理面への配慮）
富山大学、京都大学、および参加施設の倫理委員会承認を経て行った。

C．研究結果

IgG4関連呼吸器疾患の診断基準を作成し、診断を、確定診断例（definite）・組織学的確定診断例（definite, histological）・準確定診断例（probable）・疑診例（possible）の4つに分類した（論文3）。鑑別を要する疾患を列挙し、解説とアルゴリズムを付記した。

D．考察

IgG4関連呼吸器疾患の診断においては他疾患の鑑別が重要であるが、新しく作成した診断基準は他の呼吸器疾患との鑑別において高い診断精度を有していた。

E．結論

IgG4関連呼吸器疾患の診断基準を作成した。本診断基準の普及が望まれる。

F．研究発表

1. 論文発表

1. Matsui S, Yamamoto H, Minamoto S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposed diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. *Respir Investig.* in press

2. Nakatsuka Y, Handa T, Nakamoto Y, Nobashi T, Yoshihiji H, Tanizawa K, Ikezoe K, Sokai A, Kubo T, Hirai T, Chin K, Togashi K, Mimori T, Mishima M. Total lesion glycolysis as an IgG4-related disease activity marker. *Mod Rheumatol* 25 (4) : 579-584:2015.

3. 松井 祥子, 山本 洋, 源 誠二郎, 早稲田優子, 三嶋 理晃, 久保 惠嗣 第54回日本呼吸器学会学術講演会 シンポジウム報告 IgG4 関連呼吸器疾患の診断基準 日呼吸誌, 4 (1) :129-132:2015.

2. 学会発表

Matsui S, Yamamoto H, Handa T, Minamoto

S, Waseda Y, Mishima M, Kubo K. Proposal for diagnostic criteria for IgG4-related respiratory disease. ATS 2015 International Conference; 2015 May 16-20; Denver.

G . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし